

【院内学習会】嚥下食試食会 実施報告

作成：2024/7/25 ST 鹿内・管理栄養士 奥寺

2024年7月24日（水）17:00～18:00の約1時間、函館稜北病院2Fオープンスペースで嚥下食の試食会を開催しました。参加者はリハ科医師・管理栄養士・言語聴覚士・歯科衛生士など計約15名が参加し、「刻み食」「刻みトロミ食」「やわらか食」「ペースト食」などとコード分類ごとに並べられた嚥下食をスタッフ自らが実際に食し、各専門職の特化した視点を活かして物性や味を確認していきました。また、新たにバリエーションを拡大するための新商品や、新しいトロミ剤なども併せて試食・試飲を行いました。

試食後は、今後に向けて改良が必要な点から、現状の質のまま提供を継続して欲しいものまでと、多職種での様々な意見交換がなされ、予想以上に盛況な会となりました。

適切な形態の嚥下食を用いた直接嚥下訓練は、口から食べる機能を高めていく上で最も有効な治療手段と言っても過言ではありません。また、入院されている方からは「食事の時間が一番楽しみだ」という声も多く聞かれます。やはり、口から食べること＝「幸せを感じる」こととして欠かせない重要な行為ですね。私達、支援者は常にこのことを念頭に置いて支援していく姿勢を忘れてはならないことを再認識しました。

今後とも患者・利用者へより質の高い嚥下食を提供し続けられるよう、言語聴覚士と管理栄養士が中心となって、こうした嚥下食への取り組みを続けていきたいと思えます。

